

「健康スコアリングレポート」は、「健康の通信簿」 当健保の健康課題が明らかに！

「健康スコアリングレポート」は、各健保組合の加入者の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況などについて、全組合平均や業態平均※1と比較したデータの経年推移を見える化したものです。

企業と健保組合が従業員の健康に関する問題意識を共有することで、コラボヘルス（両者の連携）が促進され、予防・健康づくりの取り組みを活性化させる目的で、令和1年度から厚生労働省・経済産業省・日本健康会議が協働して作成しています。毎年度、事業所別の詳細な健康課題をまとめて当健保が公表している「健康白書」※2と合わせて、お一人お一人の健康づくりや疾病などの予防への積極的な取り組みにつなげてください。

※1 当健保の事業所は複数の業態で構成されているため「その他のサービス業」で業態の登録をしています。

概ね50人以上の事業所分は、各社宛に送付しています（それぞれサービス業・製造業・食品製造業で登録しています）。

※2 健康白書は、事業所別に前年度のデータを当健保内で集計比較をし、毎年送付しています。

令和4年度版（令和3年度実績分）健康スコアリングレポート（抜粋）

※令和1～令和3年度のデータに基づいて作成

顔マークの見方

全組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好😊」から「不良😞」の5段階で表記しています。



【当健保の特定健診・特定保健指導の実施状況】

特定健診の実施率

74位 / 1,127組合



特定保健指導の実施率

527位 / 1,127組合



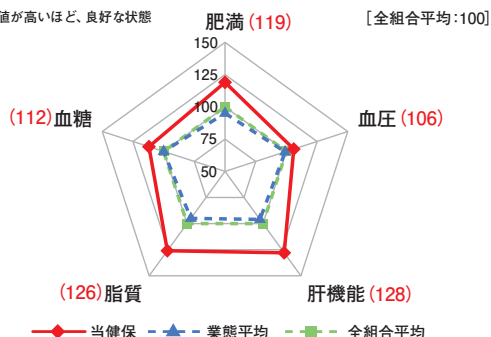
40歳以上の定期健康診断に特定健診項目を組み込んでいるため、特定健診の実施率は高くなっています。しかしながら、特定保健指導の対象となってもプログラムに参加いただく方はまだまだ少ない現状です。

【当健保の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合

健康状況



*数値が高いほど、良好な状態



リスク	良好	中央値と同程度	不良
肥満リスク	😊	😊	😞
血圧リスク	😊	😊	😞
肝機能リスク	😊	😊	😞
脂質リスク	😊	😊	😞
血糖リスク	😊	😊	😞

※令和3年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

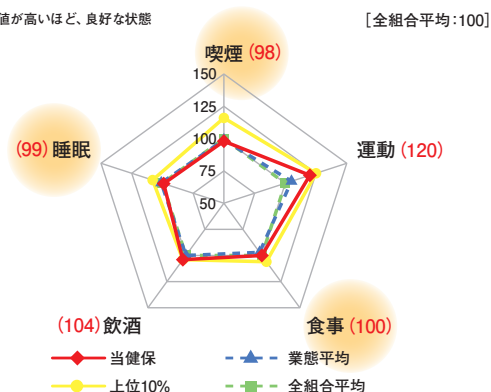
令和3年度の健康診断において、生活習慣病リスクがあった方の人数は、全組合平均よりも少ない結果でした。

【当健保の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合

生活習慣



*数値が高いほど、良好な状態



リスク	良好	中央値と同程度	不良
喫煙習慣リスク	😊	😊	😞
運動習慣リスク	😊	😊	😞
食事習慣リスク	😊	😊	😞
飲酒習慣リスク	😊	😊	😞
睡眠習慣リスク	😊	😊	😞

※令和3年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。
※生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。
※上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。
(※1)「ランクUP」は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（リスク対象者を減らす人数）を記載

食事習慣では朝食を週3回以上抜く、朝昼夕の3食以外の間食を摂取する方の割合が多いことがわかりました。

喫煙は当健保の課題となっています。睡眠で十分な休養を取っていない方がいます。

各社ごとの健康スコアリングレポートはホームページに掲載していますのでご確認ください。

詳しくはこちらから ▶
(ダスキン健保ホームページ)

